（別添資料１）

事業所名　障がい児通所支援事業所　はるか学園

支援プログラム

作成日　令和　7　年　4　月　1　日

法人（事業所）理念		子ども達の可能性をできる限り伸ばしながら自立につながるような支援をします。													
支援方針		日常生活でのスキルアップを目指し、集団活動の中で社会性やコミュニケーションを養い、関係機関との連携を取り、一人ひとりに合わせた支援を提供します。													
営業時間		（平日） （休校日）	9 8	時 時	00 00	分から 分から	17 17	時 時	00 00	分まで 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支　援　内　容													
本人支援	健康・生活	・毎回の体温測定に加え、普段とは違う仕草や表情に気づき、観察または保護者との連携を図ります。 ・身辺自立を目指します。（整理整頓・金銭管理など）													
	運動・感覚	・身体を動かして健康維持を目指します。（ストレッチ・マラソン・リズム体操など） ・自転車や街探検（散歩）と合わせて、公園での遊具遊びを提供します。（視覚・聴覚・触覚・固有覚など）													
	認知・行動	・日付・曜日・天気の把握とタイムスケジュールによる時間の認知などを支援します。 ・ゲームでの適切な行動や認知の偏りを配慮した支援をします。													
	言語 コミュニケーション	・帰りの会で活動の振り返りと気持ちの言語表出の場を提供します。 ・ルールなどや他者との間に入ってコミュニケーションが取れるように支援します。（文字や絵カード・ジェスチャーなどを使用）													
	人間関係 社会性	・役割分担のある協同遊びを通して、人間関係や社会性を身につけられるように支援します。（お願いやお礼などの言葉遣い）													
家族支援		・個別面談の実施（年１回・必要時） ・連絡帳や送迎時にコミュニケーションを取り、相談や要望などの共有を図ります。									移行支援	・他事業所と併用されている場合の日数や時間の調整を図ります。 ・ライフステージの切り替えを見据えた準備に努めます。			
地域支援・地域連携		・学校や他事業所での様子などを共有し、関係者機関との連携を図ります。　・関係者機関との個別会議に参加します。									職員の質の向上	・毎日のミーティング時に情報共有を図り、サービスの向上に努めます。 ・職員会議の実施（月１回）　・研修会へ参加　（随時）			
主な行事等		・季節に関する行事（お花見・ハロウィン・クリスマスなど） ・外出体験（公園・外食・パーク等の施設見学・初詣・商業施設でのお買い物体験・狩り体験など）													